

注意：本説明書は 当社製品 T S E C - O 1 使用のために必要最小限を記載したものです。
ボイスモジュール516Lは当社開発製品ではございませんので、下記内容を保証するものではありません。
必ず正規の取付け説明書を“Directed ELECTRONIC,INC.社”にてご覧いただき、各自の責任において取り付け願います。

機能

監視動作開始時、解除時、警報検出時に日本語または英語でボイスメッセージを発音します。
予備警報を備える各種2段階センサーの予備警報は本ユニットのボイスメッセージで、本警報をT S E C - O 1のサイレン鳴動で警告するという様に設定ができます。 ※警報検出信号はカスタムボイスに割り当てられるので、メッセージはご自身で録音する必要があります。
516Lは各種車両信号を結線することで下記のタイミングでもボイスメッセージが発音可能です。（当方サポート外です）

- ◎半ドア状態でセキュリティONしたとき
- ◎ボンネット、またはトランク開のままセキュリティONしたとき
- ◎セキュリティONでドアが開けられたとき
- ◎セキュリティONでボンネット、またはトランクが開けられたとき
- ◎ドアが開けられた後に、セキュリティOFFしたとき
- ◎ボンネット、またはトランクが開けられた後に、セキュリティOFFしたとき
- ◎リモートエンジンスタートが動作開始したとき
- ◎リモートエンジンスタートがエンジンを始動完了したとき
- ◎リモートエンジンスタートがエンジンを停止したとき
- ◎リモートエンジンスタートでエンジン始動後、マニュアル操作に切り替えたとき
- ◎手動でエンジン起動後、リモートエンジン停止操作したとき

また、付属のマイクを使って、拡声器としての使用もできます。

配線説明

マイクから出ているジャックピンコネクタと青、白コネクタをセンサー本体に接続します。

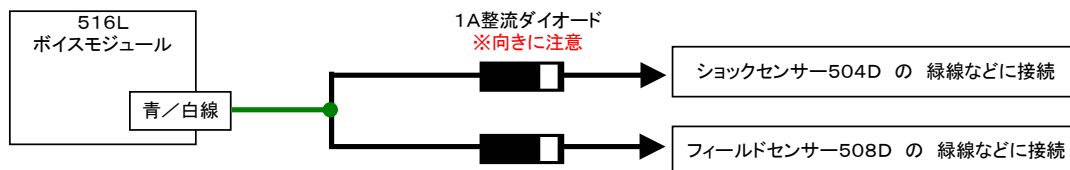
12ピンコネクタをセンサー本体に接続します。

- 赤： 装置の電源。 常時12V配線に接続します。
- 黒： センサー装置のボディーアース。 車両金属部に接続します。
- 橙： 監視動作開始制御線。 T S E C - O 1の“各種オプションセンサー起動コントロール配線”に接続します。
- 青/白： カスタムボイス1 ボイスメッセージ発音トリガー配線

異常検出時にボイスメッセージを発音させたい各種センサーの警報信号送出配線を接続します。

※カスタムボイス1の発音メッセージは出荷状態で録音されておりませんので、ご自身で録音する必要があります。

※複数のセンサーを同時に接続する場合は、下図の様に各センサー信号を1A整流ダイオードで隔離接続してください。



- 灰2本： 付属スピーカ配線を接続します。
- 茶： 未接続
- 黄： 未接続
- 緑： ドアオープン信号線（オープン時ボディーアース） または、未接続
- 青： ボンネットまたはトランクオープン信号線（オープン時にボディーアース） または、未接続
- 赤/白： カスタムボイス2 ボイスメッセージ発音トリガー配線 または、未接続
- 黒/白： カスタムボイス3 ボイスメッセージ発音トリガー配線 または、未接続
- 橙/黒： リモートスターターのアクセサリアウトプット信号線（ACCオン時にボディーアース） または、未接続
- 青/黒： リモートスターターのステータスアウトプット信号線（エンジンスタート中にボディーアース） または、未接続

カスタムボイス録音手順

※ここでは セキュリティON中に青/白線がボディーアースに接続されたときのメッセージ録音を前提としています。

1. モジュールの電源を通电する。
2. 緑線をボディーアースに接続する。
3. 黄線を12Vに接続する。
4. マイクスイッチを ゆっくり ON、OFF、ON、OFF 操作する。（録音番号2）

※このON/OFFする回数を変更することで、3本のカスタムボイス発音メッセージの発音タイミングを選択できます。

回数と発音タイミングは下記のとおりとなります。

録音番号	発音タイミング
1	セキュリティONにしたとき、すでに青/白線がボディーアースとなっている場合（センサー不良時等）
2	セキュリティON中に、青/白線がボディーアースとなった場合（センサー作動時）
3	セキュリティON中に、青/白線がボディーアースとなった後のセキュリティOFF時（センサー作動履歴）
4	セキュリティONにしたとき、すでに赤/白線がボディーアースとなっている場合（センサー不良時等）
5	セキュリティON中に、赤/白線がボディーアースとなった場合（センサー作動時）
6	セキュリティON中に、赤/白線がボディーアースとなった後のセキュリティOFF時（センサー作動履歴）
7	セキュリティONにしたとき、すでに黒/白線がボディーアースとなっている場合（センサー不良時等）
8	セキュリティON中に、黒/白線がボディーアースとなった場合（センサー作動時）
9	セキュリティON中に、黒/白線がボディーアースとなった後のセキュリティOFF時（センサー作動履歴）

5. マイクスイッチをもう一度押して、そのまま押した状態で待つ。
6. 案内が聞こえて、マイクのLEDが点灯したら 5秒以内のメッセージ をマイクに向かって話す。
7. マイクスイッチを放して、録音終了

ディップスイッチ設定

日本語での発音を行う場合　：　SW1－OFF、SW2－OFF、SW3－OFF、SW4－ON

英語での発音を行う場合　：　SW1－ON、SW2－OFF、SW3－OFF、SW4－ON

※各スイッチの説明はユニット付属説明書をご覧ください。

設置場所

音声モジュール本体は室内に設置してください。

音声スピーカはエンジンルームのストラット上部の周辺など、熱の届かない場所に設置します。

音量は、モジュール本体の音量ボリュームで調整可能です。

その他

マイクスイッチを押したままにするとLEDが点灯し、拡声器として動作します。